

1 学校教育目標・重点目標

学校教育目標

- 豊かな心と広い視野、創造的な姿勢を持ち、主体的に社会貢献できる、心身ともにたくましい人間を育てるために、以下の3点を目指した教育を推進する。
- 1 自らの生き方を考えとともに、思いやりの心と社会規範意識を持ち、時代の変化に対応できる柔軟かつ能動的で個性豊かな人間性の醸成
 - 2 自分の興味や適性を認識し、将来の主体的な職業選択の実現に向けて着実に努力していく能力・学力を持つ生徒の育成
 - 3 地域の自然や歴史・伝統を理解し、地域の産業や文化の発展に寄与するとともに、広く世界に目を向け、社会の発展に創造的に貢献できる生徒の育成

重点目標(中・長期的目標)

- (1) 総合学科として、地域の産業・文化の振興と環境保全に貢献する人材教育をするために、積極的に地域との連携を図り、生徒一人ひとりの意欲と自尊心の向上を目指す
- (2) キャリア教育を充実させ、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てる教育活動を計画的に行い、進路実現を目指す
- (3) 安心で安全な学校(環境)づくり体制を構築し、生徒会活動・クラブ活動・課外活動を通じて、生徒の多様性・独自性を尊重し、主体的に生きる力を育むとともに、豊かな情操の形成、社会規範意識の育成および体力の向上を図る

今年度の重点目標

- ① 信州の総合学科高校としてのあり方を再検討し、地域との連携を充実させたキャリア教育体制を更に強化する
- ② 主体的・探求的な学びをおとして、生徒一人ひとりが目的意識を持ち、校内外の学習活動に取り組めるよう支援する
- ③ 基本的生活習慣を向上させ、安全安心な環境を維持し、いじめを許さない人権教育を推進する

2 評価項目・評価の観点

(「達成度」のA～Dは、「A 達成できた、B ほぼ達成できた、C 改善の余地がある、D 相当の改善を要す」を表す。)

対象	評価項目	評価 (成果と課題)	達成度
企画・推進	組織の連携	コロナ禍による、授業や行事への対応を検討した。3つの方針に沿った教育目標、来年度重点目標、学期制ならびに来年度行事について検討した。本校のあるべき姿を将来を見据えながら検討を継続する。	B
教務	情報の共有・発信	コロナ禍、学校行事や授業への対応等ホームページやオクレンジャーを活用し周知徹底に取り組んだ。緊急時等の確認と対策・検討をし、更なる迅速な対応に努める。	B
		学校案内・学校要覧の作成、ホームページを活用しての情報発信が出来た。情報発信のタイミング、内容の精選につとめる。	B
キャリア教育	学力の向上	生徒一人ひとりが基礎学力を定着できるように取り組んでいる(基礎力診断テスト、マナトレ等)主体的・探求的な学びの授業に向けICT機器を導入し、研修が行われている。今後の授業への活用が課題である	B
		放課後の進学補習、長期休業や保護者懇談会後に学力補充のための補習に取り組んでいる	B
	地域との連携を充実させたキャリア教育の推進	外部との接触や活動が制限されながらも、家庭内の社会人へのインタビューなどの活動を通して、自らの社会との関りを学ぶことができた。ICT機器をさらに活用し、交流範囲を広げていく。	B
	指導体制の充実	全職員が3学年全員を数名ずつ分担し、作文・小論文指導や面接対策指導に取り組んでいる。小論文指導の充実を図る。	B
	科目選択に対する支援の充実	進路ごとに必要な科目を定め、必ず選択できるように配置表を作成できた。施設や職員数に配慮しながらより多くの希望にそうようフリー科目を配置したい。	B
生徒指導	生徒支援の充実	全校生徒を対象にネットの利用状況について初めて調査したり、ICT整備関連に伴いスマホの取り扱いについて見直しを図った。日課時限朝(朝SHR)の変更に伴い、重点課題の部分で足まみがそろわない所が見られた。全体に引き続き注意喚起していきたい。	B
		人権教育映画を通して、新型コロナウイルスなどに伴う病気によって起こる誹謗中傷や差別について考えさせる機会を作ることができた。人権教育(特にSNS対策)について年度の早い時期に職員研修を行い、危険性等を生徒に周知徹底させたい。	B
		昨年度よりカウンセリングの希望が多かったが、授業時のカウンセリング実施やサブカウンセラーの活用などによってなどによって対応することができた。	B
生徒会	生徒会活動の支援	コロナ禍のなか年度当初の予定が大幅に変更せざるを得ず、感染状況により集会などへの対応も目まぐるしく変化し係も生徒もそれに翻弄された感はあるが、代替企画を「志希祭」と銘うち9月19日に開催にこぎつけるまで生徒を支援することができた。	B
	クラブ活動の充実	休校の合間を縫って放送によるクラブ説明会を実施するなど、例年に近い支援はできた。	C
図書	図書館運営の充実	探究学習に積極的に関わっていくことで必要な資料を収集し支援することが出来た。	B
保健	健康で働きやすい学校づくり	学校職員全体の協力で変更された日程の身体測定・健康診断が円滑に実施することができた。移動教室の環境整備などの課題は残っているが、関係部署にできる限りの対処をして頂いた。新型コロナウイルス感染症対策を学校職員全体の協力で円滑に対応、実施することができた。	A
視聴覚・環境整備	視聴覚運営の充実	放送委員会に対し、校内放送や文化祭での放送業務が円滑にできるように引き続き援助する。	B
	資源のリサイクル化の推進	リサイクルステーションの活用について、職員全体の協力を得ることができた。	B
同窓会・PTA	同窓会の充実	年間計画に従い生徒および同窓生に対して支援を進めてきたが、事業を精選し来年度も引き続き同窓会活動を充実していきたい。	B
	積極的なPTA活動の推進	新型コロナのため代議員会・総会は中止したが、場所の分散やリモートなどのいろいろな方法で来年度は実施の方向で考えていきたい。	B